

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|-------------------------------|
| 事業名 | 特産品推進と地産地消推進事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 白馬村 (白馬村役場 農政課 電話 72-5000) |
| 事業区分 | 産業振興、及び雇用拡大事業 |
| 事業タイプ | ハード |
| 総事業費 | 1,513,312円 (うち支援金: 756,000円) |

事業内容

【紫米専用乾燥機】

平成16年から青鬼地区で栽培している紫米の乾燥を2台の乾燥機で行っているが、1台の乾燥機は老朽化で修理が困難になり、白馬村の特産品として定着した紫米を今後生産・販売するために、乾燥機を1台更新した。

【大豆潰し機】

白馬村では地産地消の取組として、村民や白馬村味噌漬物生産組合が白馬産の大豆を大豆潰し機を使用して味噌加工を行っているが、老朽化により大豆潰しに支障が出ており、地産地消を今後も推進するために、大豆潰し機を更新した。

事業効果

【紫米乾燥機】

平成25年は紫米の生産量が前年より約1.7t増加したが、乾燥機を更新したことにより例年並みに乾燥作業を完了することができた。

【大豆潰し機】

平成25年は村民の味噌加工量が前年より約0.3t増加したが、その後大豆潰し機を更新したことにより、味噌生産組合の潰し作業が効率的にでき、組合の味噌加工量も前年より約0.3t増加した。

今後の取り組み

【紫米生産】

青鬼地区での紫米生産を継続するために、紫米や紫米を使った加工品の販売拡大、新たな加工品の開発により紫米の需要増大を図っていく。

【味噌加工】

今後も地産地消や6次産業化の一環として、白馬産の大豆を使った味噌加工を支援していく。

※1自己評価(事業実施率)欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2自己評価(事業効果)欄は、以下から選択のこと。

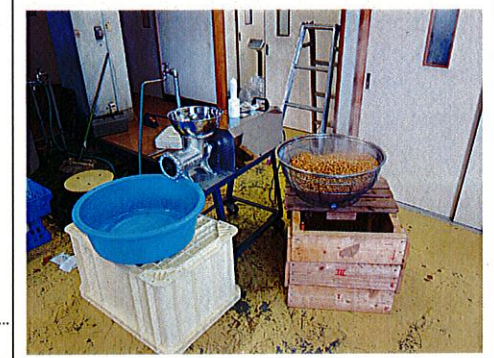
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【紫米乾燥機の更新】



【大豆潰し機の更新】



※1自己評価(事業実施率)【 B 】

【目標・ねらい】

- 紫米の生産継続
- 味噌加工の継続
- 白馬村の地産地消の推進
- 白馬村の6次産業化の推進

※2自己評価(事業効果)【 B 】